

受付番号

27

承認番号

大歯医倫 第 110868 号

研究課題名

臼歯部咬合接触状態が最大舌圧に与える影響

研究責任者

覺道 昌樹

申請者

覺道 昌樹

所属

有歯補綴咬合学講座

所属

有歯補綴咬合学講座

職名

助教

職名

助教

申請の概要

摂食嚥下リハビリテーションにおいて舌圧計測のエビデンス構築のために最大舌圧に咬合接触状態の有無が与える影響について検討する。

本研究の対象は、20歳以上、40歳未満の健常有歯顎者 20名および65歳以上の高齢者 20名の合計 40名とする。計測 1 回目では、咬合接触検査、上下顎歯列の概形印象採得、舌圧測定および咬合採得を実施する。研究担当者が各対象者の歯列模型とバイトプレートを製作する。計測 2 回目では、バイトプレートを装着した状態での舌圧測定を実施する。1 回目と 2 回目の計測は日を別にして行い、最大舌圧計測時の姿勢は坐位とする。

以上より、得られたデータを集計し、各群において最大舌圧に咬合接触状態の有無が与える影響について詳細に比較検討を行う。